

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念は、部署内に掲示し、フロア会でも職員間で確認、共有出来ている。管理者、職員は理念を共有してサービスの実践に繋がっている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は、地域行事に参加し地域とのつながりがもてている。施設内では地域からのボランティア喫茶や音楽演奏などあり。土下地区では、夏祭りに参加しご利用者、職員で歌を披露した。お盆には夕方から万燈に参加、秋には神社のまつりで地域の方との交流ができた。 認知症ケア向上連絡会では、オレンジガーデニングでこども園にいき認知症の啓発とともに、園児との交流でキバナコスモスの植ええ等を行った。また9月には恒例の地域密着型事業所5事業所での合同運動会に参加し優勝することができた。年間通して地域の一員として交流ができている。	・記述に土下地区とあるが誰が見ても分かるような表現が良い。(例:地元)記述の整理をした方が良いと思う。 ・地元広報誌を昨年度より配布してもらい利用者に回覧している。 (毎月施設へ持ってきていただいている。) ・地元地区との合同避難訓練実施予定。 ・地元行事(小学生、婦人会など)への参加も今後出来ればよいのでは。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に会議を開催しグループホームの現状等を報告できている。外部評価についても運営推進会議を活用した評価を行うことが定着してきており日頃の会議より部署内の様子を見学し外部評価に反映していただいている。いただいた意見はフロア会で報告し職員間で共有しサービスに活かしている。	・外部評価に反映して、とあるが評価がサービスの向上に活かされているかという記述の方が良い。 ・長い間コロナで部署内が見れていないが運営推進会議で見学していただき理解を深めていただくことができた。		

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃より状況の変化があれば報告し相談を行っている。市町村担当者とは、運営推進会議を通じて事業所の現状を伝え、協力関係を築くよう取り組んでいる。入退去、待機者数等の状況を毎月報告も行っている。	・運営推進会議欠席者にも会議録があれば良い。また会議録だが内容が具体的だがもう少し簡素化しても良いとの意見あり。 ・入退去、待機者数について現在は鳥取県版電子システムにて報告を行っている。現在は一方通行での報告となっている。 ・市町村側からも情報提供があってこそ協力関係になるのではないか。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、施設全体として、身体拘束ゼロに向け取り組みや職員への研修を行い身体拘束に関する理解を高めている。 玄関の施錠については生命の危険がある場合には家族の同意を得たうえで必要に応じた対応をとっている。居室内では見守りセンサーを使用しご利用者の安全は確認しているが、センサーの反応が不安定なことがある。その為より確実な見守り体制にする為補助的にセンサーマットを設置し転倒防止を行っている利用者1名あり。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の希望を叶える対応の充実に図っていくことが大事。 ・見守りセンサーが不安定であることが心配である。 →入居時にご家族へ見守りセンサー使用については説明を行っている。100%転倒が防げるものではないが、こまめな安全確認は行えている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束、虐待防止委員会を中心に、職員に拘束、虐待のないケア周知を図り、全職員で虐待の芽チェックを実施し日頃のケアを振り返った。管理者や職員は高齢者虐待防止について研修を開催し学ぶ機会を持っている。e-ラーニングでも虐待防止、身体拘束についての研修を各自受講を行った。意識を高める事により注意を払い、防止に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・虐待の芽チェックの実施。職員によって理解に差があると思う。評価の前に虐待の芽チェック項目の共通理解を職員間で話し合う必要がある。 ・一時的に自宅に帰る場合は家族と利用者の関係性も意識しておくことも必要。 ・虐待に関しては、家族や地域の方への啓発を行っていくことも必要になってくる。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度、権利擁護に関する研修を開催し、理解を深めている。日常生活自立支援事業を利用している利用者があることで、勉強会で取り上げ学ぶ機会を持った。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は、介護報酬改定に伴い基本料金の変更、新たな加算算定があり、ご利用者、ご家族に説明を行い理解、納得を図り同意を得た。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	住民集会（＝月１回利用者の集会）で意見や日頃の利用者の声を聞き取りサービスに反映させている。家族アンケートを実施し、家族の要望等も受け、運営に反映させている。又集計結果は家族、外部（運営推進会議、外部苦情委員会）へ報告している。 ご意見箱の設置を行っているが、ご意見はなし。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ご意見箱の設置があるのにご意見が無いのはどうか。来所しないと投函できないのであれば意見を聞く機会を設けてみてはどうか。ご意見箱のアナウンスも必要。 ・面会時、家族に対して意識し声かけを行っていくことが必要。家族に対しても「特に変わらないです」の報告はよくない。毎日過ごしている職員とたまに来られる家族との認識は違う。具体的に〇〇でお過ごしですと事実を伝えるようにする。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者、管理者は、年２回の面談や毎月のフロア会議、日々の業務等の中で、職員の意見を聴き反映に努めている。 自己評価により職員の意見等の確認を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者・管理者は、個人目標、人事考課により職員個々の実績や勤務状況等の把握をし、やりがいなどの向上心を持って働けるように努めている。年１回ストレスチェック、腰痛アンケートを実施し職場環境・条件の整備にも努めている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ストレスチェックの意見、報告は産業医にて分析、報告を受けている。部署の傾向は事業所で報告は受けているのか、又反映されているのか。 ・腰痛持ちの職員数名あり、コルセット使用し就業している。腰痛体操、腰痛アンケートの実施している。 →リハビリ職員に１人１人に合った対策、評価をしてもらいアドバイスしてもらってはどうか。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、職員個々のケアの力量等を把握し、職員に合った研修を受ける機会を確保している。オンライン動画研修アプリを活用し、個々で学習できる取り組みも行っている。 ・認知症介護基礎研修 ・認知症介護実践者研修 ・キャリアパス対応生涯研修リーダー ・認知症対応型サービス事業・管理者研修 介護ラダー研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（介護職段階研修） 職員階層別教育研修ミドルコースの研修参加あり。 他施設内研修あり。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・内部研修だけでなく外部研修にも参加できている。参加できていない職員にも資料の持ち帰り、動画研修アプリ等使用し個々で学習できている。 ・オンライン研修に関しては、自宅で時間外での学習になっているのでは。自己学習も大事であるが強制にならないように。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症ケア向上連絡会を通じて、研修会、北栄町事業所合同運動会の開催により利用者、職員ともに交流することができた。法人内のグループホーム間で事例検討会に参加し意見交換を行っている。活動を通じて部署内で共有しサービスの質の向上となるよう努めることができた。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、本人の残存機能や得意な事等を把握し、家事や新聞整理など役割として職員と一緒に、時には自立して行えるよう支援している。又季節の作品づくりや行事の備品準備等も職員と一緒に行うことで関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、要望を踏まえた外出行事、ふるさとドライブ、地元の神社への初詣等馴染みの場所へ行けるよう支援している。又、地元の服屋への買い物等を職員と一緒にやっている。	・日頃のつぶやき、会話から意見をひろいあげている。 ・本人が思い出せなくても家族からの聞き取り等行い支援へ活かしてみても。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の住民集会や日々の生活の中で一人ひとりの暮らしや意向の把握に努め、プランに連動し反映できている。又入居時や担当者会議の中でご家族から在宅時の過ごし方や趣味等を聞きとり本人に無理のないように支援に反映している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がより良く暮らせるよう、居室担当、計画作成担当者を中心に専門職(リハビリ、管理栄養士等)と話し合っている。今年度より担当者会議は家族参加が再開となり本人と家族の意向要望を聞き取りより支援に繋げる事が出来ている。現状の課題やケアに対しての意見も反映し計画書を作成している。月1回モニタリングを行い、3か月に1回計画書の見直しを実施している。	・担当者会議で家族に参加してもらうことで、今まで聞けなかったご意見を聞くことができるようになった。又、専門職から多方面での意見を家族に提供できている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・県外等面会することが難しい家族も年に1回でも担当者会議に参加して頂いては。 ・直接話しをすることで意見も出てくる、また多職種の意見も反映できると思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画書に基づいたケアを行い、電子カルテを活用し、計画に沿って支援した記録を個別に記入している。又、気づきがあれば記入し職員各々、電子カルテで情報を共有し、記録をもとに見直しに反映している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・要望に対し明確に対応できている。 ・記録に個人差あり、研修や指導も定期的に行うことも必要。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者、家族ニーズにより多職種(管理栄養士・歯科医師、歯科衛生士・言語聴覚士・理学療法士・老健看護師、社会福祉士、ケアマネ)との連携を図り柔軟なサービスとなるよう取り組んでいる。	・「ニーズにより」ではなく「ニーズに対応するために」の記述の方が良い。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問散髪、防災活動で地域との協力体制、かかりつけ医へ定期的に通院を行い安心な暮らしを支えてもらっている。利用者要望での地域へのドライブを実施している。その人にとっての地域資源をより知る為に日頃の会話の中、担当者会議や面会時等に家族からの聞き取りも行い支援に繋	・「シート活用も行った。」という表現を具体的に記述した方が良い。 例:個人用の希望シートを活用した。		

				げている。(買い物等)シート活用も行った。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人、家族の希望に沿い、かかりつけ医の受診を行っている。法人の協力病院へ変更する際には十分な説明を行い、了承を得ている。定期的な通院、必要時での受診も行い主治医に状態報告を行う事で適切な医療が行えている。又家族への報告も行っている。現在電子カルテ活用し、法人医療機関とは情報共有ができている。今年度より協力病院とは月1回医療連携カンファレンスを行い迅速に対応できるように利用者の状態の情報共有を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院時には関係者に必要な情報を提供し、安心して治療できるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との連携にも努めている。今年度骨折で整形外科に入院者1名あり。退院後についても家族、医療機関の地域連携室と連絡相談を行った。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・家人の要望に応えている。入院になった場合でも状態に応じて待機期間あり。 ・医療機関と連携し入院前後の支援もできている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホームでは終末期ケアの対応はしていない。重度化した利用者については、併設している老健でより専門的な対応、看取りケアが出来る事を本人、家族へ説明、意向を確認し取り組んでいる。重度化している利用者現在1名あり、本人、家族希望で急変時はかかりつけ医へ入院し看取りとしている。病院側にも意向を伝えている。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・グループホームでできることとできないことの説明ができ次の段階の支援が出来ていれば良い。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	老健看護師指導のもと急変時や事故発生時を想定したロールプレイを部署内で実施した。又施設内ではAEDを用いて心肺蘇生の研修を行い実践力を身につけている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時を想定した防災訓練を地元地区と協力し実施している。災害時想定での非常食提供の訓練、発電機稼働訓練も行っている。災害における協力に関する協定書を結んでいる。備蓄品として約3日分の食料、水分を確保している。	・地元自治会と協力し訓練を実施している。 ・協定書がどんなものか確認する。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・施設からの働きかけがあり良い関係性が築けている。 ・中央公民館、中学校、施設と避難場所が3つある。どこを選ぶのか年齢別でも考えていくことも必要か。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人権研修や虐待の芽チェックリストによる自身のケアの振り返り、勉強会を行っている。 虐待の芽チェックにて不適切な発言も聞かれるとあり職員間でどの場面でどんな言葉なのかを共有し自身のケアを振り返り、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに繋げている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・どの程度の言葉かけや対応が適切なのか、継続し話し合っていく。プライバシーに関しても利用者一人ひとり感じ方、個人差がある。その人に合った対応が必要になる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、一人ひとりの生活リズムを把握する事、意向要望を尊重し、個別ケアの取り組みにも努めている。その人らしい暮らしが出来るようプランに反映し支援している。 自分のペースで過ごすことができ暮らしやすいと利用者からの声あり。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に嗜好調査実施。利用者の要望を聞き、寿司のテイクアウトを実施している。又、希望に応じノンアルコールビールを飲む利用者もあり。管理栄養士により季節を感じる食事の提供、面前調理で天丼作りを行った。おやつ作りでは、包丁等も使い出来る力の発揮や食事後に率先して食器洗いをする利用者もあり。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的に好みのものを提供できている。 ・利用者によっては「ビールが好き」とのことで行事食を提供の際にはノンアルコールビールを提供している。 ・本来は一緒に作って、一緒に同じものを食べて、一緒に片づけてが理想であるが、利用者の高齢化もあり状況も変わってきている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日食事量、水分量の観察、記録を実施し健康管理を行っている。管理栄養士、言語聴覚士と連携し、一人ひとりに合った栄養の確保、状態に応じて、嚥下評価を実施し食事形態			

				を確認している。本人の力を活かした食事習慣となるよう指導を受け支援している。水分確保が出来るよう、利用者の好みの物や家族協力のもと好みの果物やおやつを提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	OMAT の体制を構築されており、利用者の状況に応じて、法人内による OMAT（歯科医師、歯科衛生士等専門職）で口腔内の確認、指導、助言を受けている。又月 1 回歯科医師に口腔ケアについて質問し助言をうけ適切な口腔ケアを行い毎食後清潔保持に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法人の特徴、強みが生かしてあり良い。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や、排せつの自立に向けた支援、見直しを行っている。朝食時に乳製品の提供や、便秘傾向の利用者は主治医に相談し薬の調整を行う。便秘予防に毎日の体操、散歩も行っている。現在布パンツ使用 2 名あり。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・排泄はできるだけトイレでおこなっている。 ・布パンツを使用している利用者もあり。 ・便秘を防ぐという事は大事である。気分にも影響してくる。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週 2 回の入浴を実施。本人の状況に合わせた対応をしている。拒否される方もあるが、足浴、清拭対応をしている。温泉のもとを入れ香りなど楽しみながら入浴している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中活動的に過ごして生活リズムを整え、夜間安眠出来るよう支援している。ソファや畳ベッドを活用し安心して過ごせる居場所の提供を工夫している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服用している薬についての効果や副作用について理解し、主治医指示の用法用量を守り、マニュアルに沿って服用介助している。落下薬のリスクあり一人ひとりに合った確実な服薬の方法を常に職員間で共有し支		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者一人ひとりの状況によって服薬方法、確認が違う。

				援に繋げている。状態により薬の変更見直しを主治医に相談している。			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの趣味や能力に応じ、手作業等の役割や、行事レクリエーションを提供。天気の良い日は散歩したりし、気分転換等の支援をしている。訪問販売、自販機や外へ買い物に出かけたりと楽しみがもてる支援をしている。帰宅願望のある利用者には家族協力のもと一時帰宅を行い気分転換できるよう支援した。	・何か行った時の表情をしっかり観察し記録に残すことが大事。皆が行ったことに対して良かった、良かったという事ばかりではない。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の利用者の集会で外出先の要望を確認し、ドライブ外出を計画し実施している。地域行事への参加も行った。(オレンジカフェ、こども園交流、運動会、地域のまつり、芋ほり、パチンコなど)天候の良い日には、散歩に出かけている。	・地元自治体の協力もあり行事の参加もでき、気分転換ができている。 ・季節によって行事、外出の代替の検討を。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内の自動販売機や移動販売でのお菓子等の購入をしている。又通院時には売店で好きなものを自分で購入できるよう支援している。現在本人管理は1名あり。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に応じ家族と電話での支援もできている。年賀状や絵葉書に自分の思いを書き家族に送っている。家族から喜びの声あり。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	床はバリアフリーとなっており、手すりを設置し、自立した生活が送れるように工夫している。共有空間にはソファなどの生活感や、季節の飾りを一緒に作成し取り入れている。外部ラウンドチェック体制により環境整備にも努めている。希望に応じテレビや音楽をかけ居心地よく過ごせるよ		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活空間の雰囲気作りができている。 ・床の汚れや、食器棚のはげ、古い備品等が気になる。予算化が必要では。

				う支援している。			
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の関わりや会話の中で本人の意向を確認しつつ、職員間で情報を共有し、日々のケアに反映させている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族に生活歴や習慣などの情報を聞き、要望に応じケアやサービスに反映し支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本人は、職員が主治医や看護師、栄養士、リハビリスタッフ等、多職種と連携することで、健康面、医療面、安全面、環境面のケア・支援を受けている。健康面や安全面で変化あれば家族にも連絡し報告している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・インフルエンザ、コロナワクチンの接種あり。 ・マイナンバーカードに順次対応していく。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が、これまでの暮らしの習慣（洗濯たたみ、洗濯干し、食器洗い、新聞、読書など）が継続できるような支援に取り組んでいる。職員主体にならないよう自分ペースでの暮らしとなるよう配慮しケアを行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの食器や寝具等を使用している。居室に家族の写真を飾ったり、仏壇やタンスを持っている利用者もいる。又ビデオで映画が見られるように家族の協力を得て継続している利用者あり。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人の希望に沿い良い環境作りがされている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の意向要望を聞き取り正月には地元の神社への初詣や要望を取り入れた外出行事を行っている。（季節感を楽しめるドライブ、馴染みの場所へのドライブなど）地域のまつり等	・記述に「はあとまつり」とあるが本人にとってなじみがあるのかどうか。希望に沿っているかどうか。 ・本人の生活の中での馴染みの場所として考える		

				にも参加できた。(はあとまつり、北条まつり、土下夏まつり、万灯、秋まつり、など)			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に苦痛のないよう、好きな事や得意な事、できることを活かした役割やレクリエーションを提供している。趣味の花生け、歌や踊り、色塗り、ピアノ演奏、個々に合わせて実施している。			
47		本人は、自分がいいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事やレクリエーション等、日々の関わりの中で職員や他利用者と会話する機会を得ている。デイルームの席は利用者同士の相性等に配慮し、ソファでは利用者同士の会話もあり笑顔が見られる場面もあり。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「利用者同士の相性等に配慮」とあるが表現として良くないのでは。 「利用者の席に配慮し」が良い。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の運動会、こども園に訪問し交流するなど地域との関わりあり。又施設にボランティア活動が増え交流することができている。喫茶花束では地域の知り合いから声をかけられ会話する機会にもなっている。	・地域の運動会にて優勝する。 ・ボランティア活動が増え、地域との関りができ交流が増えてきている。 ・行事の後、利用者へ声掛けをしてくれるボランティアの方もいる。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人々と祭りや行事を通して親しむことができている。GH の暮らしの中では職員と日常的に会話し親しみ、又安心した暮らしができるよう一人ひとりに合ったケアを専門職と連携しながら支援している。	・利用者から「ここにおれて幸せだなあ。」と言葉をいただいた。 ・少しずつ良いのでできることを増やしていく。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活の中で笑顔が見られることがあればよい。 ・楽しそうに暮らしておられる。